

まるごとだより 第14号

にぎわいある農村をみんなで守り育てよう



目次

☆地域ぐるみで“濁水ゼロ”に挑戦しよう！

☆地域みんなで浅水代かきをしてみましょう

☆わたしたちも
がんばっています。パート1
「針環境保全団体」
(湖南市)

☆日野町のまるごとの取り組みについて
(日野町)

☆わたしたちも
がんばっています。パート2
「安孫子さわやか会」
(愛荘町)

発行 (2010.3)

滋賀県世代をつなぐ農村
まるごと保全地域協議会

〒521-1224

東近江市林町601番地
水土里ネット滋賀内

電話 0748-42-4806

FAX 0748-42-5574

Email: kyougikai@shiga-

nouson-marugoto.com

地域ぐるみで“濁水ゼロ”に挑戦しよう！

農業濁水流出防止の取り組みは必ず行う必要があります。流出防止の見廻りや補修の計画などに関する事前の準備をし、効果的な取り組みとなるようにお願いします。



【日野町 西明寺】

まずは、水を入れる前に畦塗り機などによる溝畔の補強を行います。作業時期が早すぎると、亀裂が入り効果が低下するので、3月下旬から4月初旬がいいでしょう。

浅水による代かき作業。土の見える割合は70～80%程度で十分です。速度は人が歩く程度で、周囲から内側へと作業をしましょう。



【高島市 沖田】

用水の節水管理や濁水流出防止版の適正管理などの実施状況調査は、代かき前に1回、代かき・田植期に2回、普通期に3回の計6回を目途に実施します。また、透視度調査は代かき前に1回、代かき・田植期に2回の計3回調査し記録します。



【東近江市 下中野】



【長浜市 八島】



【甲賀市 今宿】



【野洲市 吉川】

排水路堰上げ式水田魚道の設置は魚にとってやさしいだけではなく、濁水を一旦貯留し沈澱して流すことにより、濁水対策としても有効です。

看板の作成やのぼり旗を立て、地域ぐるみでの取り組みとなるよう啓発活動を行います。



【守山市 水保町】



【野洲市 三上】

お願い

県では、活動の現状や課題について把握・分析を行い今後の施策推進に役立てるため、各活動組織さんへ郵送による調査をお願いしているところです。まだ回答をいただいていない活動組織さんにつきましては、提出していただきますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

お知らせ

のぼり旗を作成し、活動組織のみなさんへ配布する予定です。活動の普及啓発にご活用ください。



フォトコンテスト入選作品
三日月 初雄さん（甲賀市）



地域みんなで浅水代かきをしてみましょう

●浅水代かきは水田ハローを使う場合、土が7割から8割見える程度の水で、畦に沿ってゆっくり水がこぼれないように、周囲から代かきを始め（手順①）、続いて内側の代かきをします。（手順②）【額縁代かきと呼んでいます】

【この方法には以下のような効果があります】

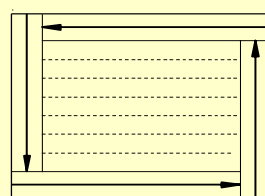
◎浅水で行うため、田植え前の強制落水の必要がありません。

◎作業効率が良く、作業時間が短縮されます。

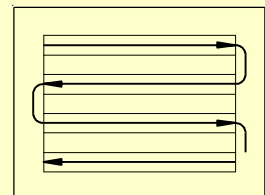
◎額縁代かきにより、まず、畦の穴をふさぐことができ、畦からの漏水を防げます。

●農業排水の状況を確認するため、透視度調査やパックテストを実施し調査結果をみんなで共有することが大切です。

手順①



手順②



わたしたちもがんばっています！ パート1

針環境保全団体（湖南市）

代表 八太 昭夫

針環境保全団体は湖南市針、すなわち湖南市の中心部に位置し、周囲は後ろ（南側）には阿星山麓、前（北側）には野洲川が流れ、山手側にはタキイ研究農場があり、近隣区に天然記念物「うつくし松」の生植地に囲まれて、自然と緑に恵まれた地区です。

活動を開始して3年が経過しようとしている現在、子供会から老人クラブまでの幅広い年齢層の活躍で着実に成果を挙げた活動を展開しています。

当地は現在農業基盤整備事業（ほ場整備）工事中で、整備面積も年々増加し作付け作業をしています。

全水田面積1,300aの推移は

平成19年度	440.0a	水	稲	273.0a
		麦・大豆		167.0a
20年度	705.0a	水	稲	336.0a
		麦・大豆		362.0a
		下田なす		7.0a
21年度	1,019.1a	水	稲	617.6a
		麦・大豆		388.5a
		下田なす		13.0a

となっています。

春には全世帯が出動して、農道及び排水路の補修や清掃を行い、春・夏（2回）・秋・計4回老人クラブ事業として草刈り作業を行い、元気な姿を披露して頂いています。

年3回の排水路水の透視度調査を実施して濁水防止策効果のチェックを行って



ますが、何よりもそんな成果が現れるのが、毎年7月に実施してくれている、針子供育成

会の生物調査です。

農業の使用が盛んな頃には、あまり見かけなかったメダカやカニ、そしてザリガニが子供たちの歓声とともに沢山採れるようになっていきます。

これ即ち生きた教材で、環境保全対策向上の現れです。

前述のように、平成20年度から取り組みました地域の特産野菜としての「下田なす」の栽培は、平成21年11月に守山市民ホールにて開催された「人・生きものにぎわう農村フォーラム‘2009’」で農産物ブランド化部門の大賞を受賞しました。

関係者の努力の賜物として12月に開催した、農事組合法人「はり営農」設立総会に於いて披露を行い改めて取り組みの正当性を確認しました。

高齢者の方々の働く場所として人気があるのと、JAを通じて市場出荷を行い地元でのニーズも高く、予約注文が入るほどになっています。

環境保全表彰受賞！

針環境保全団体が「農産物ブランド化部門」で大賞を受賞しました。関係してくださった皆様、ありがとうございました。



日野町のまるごとの取り組みについて



日野町 農林課

日野町は、滋賀県の南東部、鈴鹿山系の西麓に位置し、標高1,100メートルの霊峰・綿向山を東に望み、春には町の花である「ほんしゃくなげ」が咲き誇るなど、無限の大地が育んだ自然環境に恵まれた町です。

現在、日野町において「まるごと保全向上対策」に取り組んでおられる活動組織は40組織、農振農用地の約64%にあたる1,298ヘクタールで様々な活動が行われています。



【水路目地詰め技術研修（音羽）】

共同活動では、農業施設の点検・機能診断により、必要に応じ補修などの適切な対応や、各施設まわりでのこまめな除草作業などに取り組まれるなど、適切な維持管理がされています。なお、11月には、ポリウレタン系シーリング材メーカーの担当者を講師にブリッジ工法による水路の目地詰めの技術研修を計画された組織がありましたので、組織の了解をいただき、町から他の組織へも呼びかけを行なったところ、当日寒風が強く吹く中、多くの組織の参加をいただきました。



【生きもの生息状況について説明（鎌掛）】



【宮農ツアー受け入れ（上迫）】

そのほか、農村環境向上活動の取り組みとして、定期的にわかりやすい広報紙の発行によって、地域の理解が深まり、活動参加者の増加につながった組織、NPOなどと連携してホタル鑑賞、ニゴロブナの放流、生き物生息状況の把握を行っている組織、地域で採れた農産物を持ち寄っての収穫祭や、都市部からの営農体験ツアーの受け入れにより、地域間の交流を図っている組織など、それぞれ創意工夫をしながら、活動が行われています。



【こだわり農産物の販売と消費者との交流（上三十坪）】

営農活動については、10組織、約50ヘクタールで取り組みがなされています。環境こだわり農産物として水稻が中心となっていますが、中には日野町原産の日野菜の栽培に取り組み、販売を通して消費者との意見交換を行なっておられる組織もあります。

まるごと保全向上対策も3年が経過し、活動が軌道に乗ってきた反面、課題も見えてきています。先代から引き継がれてきた農地をはじめとした施設や自然環境を貴重な財産として地域が一体となって保全し、今後も活動組織と連携して進めていきたいと考えています。

質問コーナー

★（質問）

金銭出納簿の整理方法について教えて欲しい。

（答え）

金銭出納簿の日付については、通帳からの支出日ではなく領収書の日付を記載してください。

また、内容欄には購入店名ではなく購入品名を記入し、たとえ同じ活動のために購入したものであっても日付ごとに整理してください。

耳寄り情報

★パソコン上での添付様式18-2作業状況写真整理帳の写真の貼り付けについて、比較的楽に作業できる方法を鴨川流域土地改良区廣瀬局長より教えていただきました。何か良い方法がないかとお困りの方がおられましたら、一度試されてみてはいかがでしょうか。

・詳細は当地域協議会までお問い合わせください。



フォトコンテスト入選作品
村松 正治さん（東近江市）



フォトコンテスト入選作品
山口 銀治さん（東近江市）

お知らせ

★地域協議会よりインターネットで発信しています“メールマガジン「にぎわい通信」”は、研修会や広報誌の発行案内および地域活動情報などをスピーディに発信して好評をいただいております。個人情報管理は適正に行い、本対策にかかる情報配信以外の目的には一切使用いたしませんので、是非とも地域協議会までご連絡ください。

Mail

★「農村まるごと」に関するご意見・要望、今年度の活動の反省など何でも結構ですので皆様の声をお聞かせ下さい。この情報誌や、協議会のホームページなどご紹介させていただきます。



編集後記

★日差しもずいぶん柔らかくなり、すっかり春の陽気となりました。これから、田植えの準備で忙しくなる時期です。今回の「まるごとだより」でご紹介しました濁水防止対策を参考にいただければ幸いです。

(A.W)



わたしたちもがんばっています！ パート2

安孫子さわやか会 (愛荘町)

代表 村西 一彌

安孫子さわやか会は、協定面積約53ha、全160戸を構成員として、平成19年4月に発足しました。この地域の農村も高齢化が進み、農業の担い手にも苦慮しているところでありますが、農村まるごと保全向上対策への各種団体の理解が得られ、なんとか船出することができました。

キャッチフレーズを「自然と共生、美しい安孫子を創ろう！」とし、農村環境はもちろん字民の「心も美しく」と決めました。



毎年4月当初にさわやか会の総会を開催。各方面の有識者からご講演をお願いし、「農村まるごと保全向上対策」に対して字民の理解と意識高揚に努めています。

活動としては、以前からの組織である農業組合を中心に、農地に対する適正管理の計画を立て、遊休農地の防止、濁水



防止に対する啓発やブロック調査員による指導、耕作農用地周囲の農道、畦畔、開水路のきめ細やかな雑草対策などに取り組んでいます。

景観形成活動の拠点は、総延長280メートルを植栽した「さわやかフラワーロード」です。280メートルの農道に除草から播種、日々の水やりなどを全戸一斉に出役して実施しました。そんな字民一人ひとりの努力により、このフラワーロードには、毎年春に色鮮やかな菜の花、秋には色とりどりの可憐なコスモスが咲きほこり、地域住民の「交流と癒しの場」となっています。

また、平成20年度からは、活動報告を兼ねた収穫感謝祭を開催し、子どもからお年寄りまでが世代を超え交流を行い、地域の絆を深めています。

生態系保全活動は、有識者の指導により、休耕田を利用して鮎の養殖池を創りました。この池に稚魚を放流し、定期的に餌やりや除草、施設の補修を実施しております。収穫感謝祭時には、子ども会による幹線排水路への魚の放流も行っています。

滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全地域協議会

- 本協議会は、活動組織への支援や、採択手続き、交付金の交付事務などを行っています。
- 書類作成にかかる参考資料や活動事例などの情報をホームページでお知らせしています。

<http://www.shiga-nouson-marugoto.com/index.html>

Email: kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com

農村まるごと

検索



せせらぎの郷 (野洲市須原)



白王町鳩の会 (近江八幡市白王町)



エコグリーン上野川 (甲賀市野川)